

愛情銀行事業

～平成24年10月16日～平成24年12月15日受付分～

皆様からいただいた温かいご厚志に心より感謝申し上げます。

【金銭預託】

(順不同・敬称略)

住所	寄付者名	寄付金額	備考
北檜山区	大 関 昭 夫	100,000 円	妻が生前お世話になったお礼として
〃	大 関 昭 夫	20,000 円	母が生前お世話になったお礼として
〃	大 関 昭 夫	100,000 円	母が生前お世話になったお礼として (特別養護老人ホームきたひやま荘へ指定寄付)
〃	斉 藤 喜 美	50,000 円	夫が生前お世話になったお礼として
〃	北檜山ミドルライオン 代表 北川 泰 弘	13,900 円	チャリティーゴルフコンペの益金の一部を
〃	矢 部 末 吉	30,000 円	母が生前お世話になったお礼として (特別養護老人ホームきたひやま荘へ指定寄付)
〃	矢 部 末 吉	20,000 円	母が生前お世話になったお礼として (地域密着型小規模特別養護老人ホームせたな雅荘へ指定寄付)
〃	小 澤 卫 イ 子	30,000 円	夫が生前お世話になったお礼として
〃	匿 名	1,500 円	社会福祉推進のため
〃	匿 名	29,211 円	社会福祉推進のため
〃	北檜山老人クラブ	5,218 円	社会福祉推進のため
〃	多 田 幸 司	50,000 円	父が生前お世話になったお礼として
〃	匿 名	3,000 円	社会福祉推進のため
〃	佐 藤 隆 子	50,000 円	夫が生前お世話になったお礼として
〃	社団法人北部檜山医師会	30,000 円	社会福祉推進のため
瀬棚区	愛のふれあい訪問グループ	5,000 円	リサイクルバザー収益の一部として
〃	大 島 幸 明	30,000 円	妻が生前お世話になったお礼として
〃	武 山 正 悦	50,000 円	母が生前お世話になったお礼として
大成区	三 上 サ ツ 工	20,000 円	夫が生前お世話になったお礼として
〃	軍 恩 連 大 成 支 部	22,325 円	組織の解散に伴う余剰金を社会福祉事業へ
合 計		660,154 円	累計：1,438,509 円

【物 品 預 託】

(順不同・敬称略)

住所	氏 名	物品名	住所	氏 名	物品名
北檜山区	北檜山中学校 生徒 会	ペットボトルキャップ・ ブルタブ	北檜山区	内田建設株式会社	ペットボトルキャップ・古切手
〃	グリーンパレス	ペットボトルキャップ・ブルタブ	〃	太 檜 婦 人 会	清拭タオル
〃	菱田とうふ製麺店	ペットボトルキャップ	〃	公明党ひまわりグループ	ペットボトルキャップ・ブルタブ・古切手・古カード
〃	日 置 明 子	ペットボトルキャップ・ブルタブ	〃	加 藤 好 市	ペットボトルキャップ・ブルタブ
〃	岩 田 キ ヨ ノ	ペットボトルキャップ・ブルタブ・古切手	〃	こんどう美容室	古切手
〃	新 家 子 和 幸	ブルタブ・古カード・古切手	〃	城ヶ端建設株式会社	ペットボトルキャップ・ブルタブ・古切手
〃	林 郁 夫	古切手	瀬棚区	瀬棚老人クラブ	ペットボトルキャップ・ブルタブ
〃	木 村 卓 未	ペットボトルキャップ・ブルタブ	〃	ふ れ ん ど	ペットボトルキャップ・ブルタブ
〃	イエローパレス	ペットボトルキャップ・ブルタブ	〃	瀬 棚 小 学 校	ペットボトルキャップ・ブルタブ
〃	北檜山町農協がソリノスタンド	ペットボトルキャップ・古カード	〃	瀬 棚 保 育 所	ブルタブ
〃	せたな町母子寡婦会	ペットボトルキャップ・ブルタブ・古カード・古切手	〃	紺 谷 正 治	古切手・マッチ(箱)
〃	遠 藤 京 子	古切手	大成区	大成まちづくり会議	ペットボトルキャップ・ブルタブ・古切手
〃	北檜山老人クラブ	ペットボトルキャップ・ブルタブ・古カード・古切手	〃	久 遠 郵 便 局	ペットボトルキャップ・ブルタブ・古切手
〃	金 谷 理 江	タオル	〃	せたな町大成総合支所	ペットボトルキャップ・ブルタブ

※ 今回、スペースの関係上匿名の方につきましては、内容等省略させていただきます事をご了承願います。

生活福祉資金・応急生活資金貸付

貸付資金	道社協生活福祉資金		町社協応急生活資金	
	件 数	金 額	件 数	金 額
北檜山区	—	—	—	—
瀬棚区	—	—	2件	100,000 円
大成区	—	—	—	—
合 計	—	—	2件	100,000 円

平成24年10月16日～
平成24年12月15日迄
受付分

「安心・安全・福祉のまちづくり活動」 檜山地区推進会議



〈佐々木秀雄会長より授与〉



と き：10月30日(火)
と ころ：今金町民センター
主 催：北海道社会福祉協議会 檜山地区事務所
檜山地区町社協連絡協議会
参加者：100名(うち、せたな町29名)

この会議は、地域住民の福祉課題・生活課題等の
解決に向けた様々な実践事例を通じて、支援ネット

ワークの構築と「安心・安全・福祉のまちづくり活動」の推進を図ることを目的に開催しています。

今回は、開会前に平成24年度檜山地区町社協連絡協議会会長表彰があり、社会福祉事業功労者として管内町23名(うち、せたな町12名)の方々が受賞されました。

当町受賞者の紹介

「社協役員又は民生児童委員として、在職年数10年以上で功績顕著な方として表彰。」

- ・瀬棚区 川口 護氏、工藤 芳江氏、熊野 主税氏、新保 静夫氏
鶴入 泰宏氏、高橋 利治氏、天満 フジ子氏、尾形 洋子氏
- ・大成区 榎田 道廣氏、光銭 昌弘氏
- ・北檜山区 一入 陽一氏、板垣 洋子氏



表彰後、会議内容として、札幌市社会福祉協議会地域福祉係長の佐藤和人氏から「地域から孤独死をなくすために～今、あなたにできること～」と題し、講演が行われました。

同氏から、今年1月に札幌白石区で40代の姉と知的障害のある妹が「孤立死」した問題を中心に、2人の死をきっかけに同区の自治会組織が高齢者等地域住民の見守り、安否確認などの活動支援を始めた話や、市社協の役割・他区での民生児童委員の訪問活動のほか、「見守り」のコツ等活動の働きかけについて、指南的な話しをされ、今後における町内高齢者等の支え合い活動支援に大変役立った会議でした。

平成24年度せたな町共同募金委員会 役職員研修会の開催

と き：11月29日(木)
と ころ：北檜山総合福祉センター
主 催：せたな町共同募金委員会
参加者：22名



この研修会は、社協理事・監事・評議員及び職員が社協本来の役割・使命の認識を高めるほか、住民の立場に沿った組織運営の確立を目的に、3年計画(平成23年度～平成25年度)により開催しているものです。

今年度は、北海道共同募金会事務局長の天羽啓氏を講師に迎え「共同募金運動をとりまく情勢について」と題して、講義をいただきました。

講義の内容では、赤い羽根共同募金運動が今年で66年目を迎えたなか、東日本大震災の影響が懸念された平成23年度の運動も歳末たすけあいを合わせた全道の実績総額が、約8億6千6百万となり、前年度を1千万ほど下回って1.2ポイントの減に止まったほか、市町村単位では、むしろ前年度を上回った町が大幅に増加した話しをされました。

また、皆さんからのたくさんの募金が、「今日の社会福祉を支えている」話しや、全国・道内各地でのアイデアを駆使した取り組み事例について具体的に話され、出席者一同、熱心に聞き入り大変有意義な研修でした。

